

新たな ふくし “きらり人。” を任命しました！ ～きらり人が答える福祉の魅力～

- ①今は保育士として、3歳児の子どもたちの担任をしています。現在、保育士になって4年目です。
- ②もともと幼い頃から保育士になりたいと思っていたのですが、より大きな意味での福祉というものに興味を持ち、大学では社会福祉を学びました。卒業後は福祉分野ではない一般企業に就職したものの、やはり小さい頃から憧れのあった保育士という職業に就きたいと思い、保育の専門学校に入りなおして学び、今の職業に就きました。
- ③子どもたちの成長を1番近くで感じられることですね。子どもたちは日に日にできることが増えていって、その喜びを身体や表情で表現してくれるので、それを間近で見られるのはとても嬉しいです。悩んだ時にはアドバイスをくれる先輩方もいるので、相談しながら日々子ども達に接しています。
- ④とにかく毎日が楽しいです。子ども達一人ひとりをよく見て、その子に合わせた接し方をするのは難しくもありますが、少しずつ子どもたちの表情や言葉から、何を感じているか分かるようになってきました。福祉の仕事は、人が好きなら楽しいと思います。私も一度は他の業界に行きましたが、今はこの職を選んで良かったなと思っています。



社会福祉法人^{ほうこうかい}芳香会 たま保育園
保育士 ^{ふかや さおり} 深谷 沙織さん



ふくし “きらり人。” に聞きました！

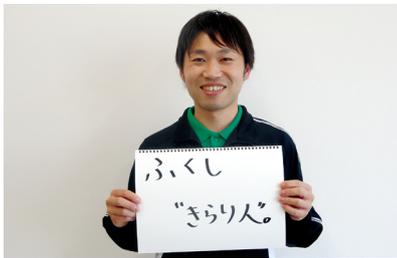


社会福祉法人^{ほうこうかい}芳香会 芳香会病院^{せいらんそうりょういっえん}青嵐荘療育園
看護師 ^{すわ ゆみ} 諏訪 有美さん

- ①重症心身障害児者が入所する施設で看護師として勤務し、利用者の日常生活の介護や、重症な方に対する医療ケアのお手伝いを行っています。看護学校を卒業して入職2年目です。
- ②高校生のころ、参加した病院見学で、重症な方の足浴をする機会がありました。その際に患者様からあたたかい言葉をもらって、こんなにやりがいがあるのかと感じて看護師を目指しました。そこから見学や実習で様々な病院や施設を見ましたが、特に重症心身障害児者が入所する施設は、病院と異なり長い間入所する生活の場なので、利用者との深い関わりを持ち、信頼関係を築いていける点に惹かれました。
- ③利用者一人ひとりの特性というか、個性の違いを知っていくのが楽しいです。また、入職して1年経って、利用者にも覚えてもらうことができたなど、信頼を築けたからこそその対応を見せてくれたなど感じる時も嬉しいです。利用者に関わっている時の笑顔や、普段は見せてくれないような表情を見せてくれた時がやりがいになっています。
- ④やはり人とじっくり深く関わって、信頼関係を築くことができることです。こういう仕事でなければできないことだと思います。

- ①身体に障がいのある方等が利用する施設で生活支援員として勤務し、9年目となります。生活面の介護のほか、利用者のお話を聞いて、その方が望む暮らしを実現するためにはどのような支援をすれば良いのかを考えています。
- ②工業高校を卒業し、工場等で働いていましたが、自分のやりたいことを考えていました。その時に知人から介護福祉士という資格があることを聞き、介護の現場に興味を持ったのがきっかけです。まずはヘルパー2級の勉強をしたのですが、その際に実習先の方からあたたかい言葉をかけてもらったことも後押ししてくれました。
- ③利用者の中には、言葉でのコミュニケーションが難しい方もいますが、毎日接する中で、少しずつ表情やジェスチャーなどからその方の伝えたいことが分かるようになり、コミュニケーションが取れた時にはとてもやりがいを感じます。利用者との関わりの中で、同じ職場のみんなと意見を出し合い、試行錯誤しながら、利用者の素顔が見られた時は、とても嬉しくなります。
- ④自分の対応がどうだったのか、利用者の反応からすぐに分かるところです。また、利用者のことを考え、寄り添うことは、自分自身も高めてくれていると感じています。

社会福祉法人^{ほうこうかい}芳香会 ^{せいらんそう}青嵐荘つくし園
にしぐち けいぞう
生活支援員 **西口 恵三さん**



- ①現在、どのような仕事をしていますか？
- ②現在の仕事に就いたきっかけは何ですか？
- ③現在の仕事をされていて、やりがいを感じるのはどんな時ですか？
- ④福祉の仕事の魅力は何だと思えますか？



社会福祉法人^{もみやまかい}樅山会 ^{けやき}特別養護老人ホーム櫻俱樂部
まみや みゆ
栄養士 **間宮 未悠さん**

- ①栄養士として、利用者に元気になってもらえるような食事を提供するほか、利用者と一緒に料理をする「料理倶楽部」など、より食を楽しんでいただくための企画を実施しています。同法人の他施設での勤務も合わせて3年目です。
- ②祖母が倒れてしまった際に、医師から食生活の改善をするようにアドバイスを受けたことがありました。私はおばあちゃん子だったので、自分が栄養を勉強して、祖母の身体をケアする食事を作りたいと思い、栄養士を目指しました。
- ③利用者と一緒にクレープや焼うどんなどを作る「料理倶楽部」で利用者といろんな話ができる時が楽しいです。また、季節の行事や、アフタヌーンティーなどのイベントで食事を提供する時には、「喜んでくれるかな」と思いながらその準備や盛り付けをしている時も楽しく作業をしています。
- ④自分が提供した食事に対して、利用者が「美味しかったよ」と声をかけてくれたりして、すぐに反応が分かるところが魅力です。今の職場は、利用者がたくさん交流できるので励みになります。今後は食事を通じて、もっと明るいつ施設にできればいいなと思っています。

ふくし“きらり人。”の活躍にご期待ください！